



耐久 ~真健美~



平成29年度
和歌山県立耐久高等学校 全日制
Monthly Times June
マンスリータイムズ 6月号

◆女子ソフトテニス 個人インターハイ出場 団体男女とも近畿大会出場！

県高校総体（ソフトテニス）で、3年楠間久美・2年山野文華ペアがベスト8入りし、20数年ぶりにインターハイへの切符を手に入れました。

さらに、男子団体、女子団体戦でも近畿大会に出場を決めました。男女そろっての団体戦出場は久しぶりなので、ソフトテニス部一致団結して試合に挑んでいきます。応援よろしくお祈りします。



◆空手道部2年連続インターハイへ

3日・4日に行われた県高校総体（空手道）で、2年奥田崇貴が個人形で優勝し、インターハイ出場を決めました。最大の山場は準決勝戦でした。緊張をしたのか、動きにいつものようなキレが見られず、熊野高校の選手を相手に4対3と辛くも勝利しました。しかしながら、続く決勝戦では、本来の動きを取り戻し、6対1の大差で優勝を勝ち取りました。



◆バドミントン部男女ともインターハイへ

県高校総体バドミントン競技、チーム一丸となって全力で戦いました。女子ダブルス優勝（3年山下玄・松下羽衣）、女子シングルス優勝（山下）、男子ダブルス準優勝（1年岩橋稜典・柏木颯）、男子シングルス優勝（柏木）の成績を残し、山形県で開催されるインターハイに出場します。



◆放送演劇部全国大会出場！

8日、NHK杯高校放送コンテスト県予選に番組3作品、個人6人が出場し、校内放送研究発表部門で1位、ラジオドキュメント部門で3位を獲得することができました。7月に東京で行われる全国大会でもがんばります。



◆全国高校囲碁選手権大会出場決定

16日、17日、全国高校囲碁選手権和歌山県大会で、団体戦で優勝（3年光定優人、林佑威、山崎太暉）、個人戦で光定優人が準優勝、林佑威が第3位となり7月に東京の日本棋院で開催される全国高校囲碁選手権大会に出場します。日頃の練習の成果を発揮して頑張ります。



◆女子バレーボール部近畿大会へ

3日、4日に行われた県高校総体（バレーボール）で、2年ぶりにベスト8に入ることができました。7月の和歌山県で開催される近畿大会でもチーム一丸となり、全力を尽くしてボールを追いかけたいです。



◆陸上女子走り高跳近畿大会出場へ

2日～4日に行われた県高校総体（陸上競技）の女子走高跳において、第4位に入賞し、近畿大会の出場権を獲得することができました。大会の数週間前に怪我をしてしまい、当日を迎えるまでは不安でいっぱいでしたが、本番では自分が取り組んで来たことを信じて、競技に集中することができました。これまで支えてくれた方々への感謝の気持ちを忘れず、近畿大会で良い結果を残せるよう頑張ります。（3年 滝さくら）



◆水球・競泳とも近畿大会出場へ 競泳女子団体、過去最高の2位！

7日～9日、秋葉山公園県民水泳場にて県高校総体が行われ、水球は向陽高校と対戦しました。向陽には敗れましたが、2位で7年連続近畿大会出場となりました。

競泳は個人種目で、中尾舞美（1年）が200m背泳ぎで優勝、100m背泳ぎで2位、生駒有起（2年）が200m個人メドレーで2位、日野遙香（2年）が100m・200mバタフライでそれぞれ2位、西谷紫穂（2年）が200m自由形で2位、倉本紗綾（2年）が200mバタフライで3位、リレーも3種目で2位でした。学校対抗の団体で2位となり、6人が近畿大会の出場権を得ました。近畿大会ではリレーを含む全ての種目でベストタイム更新を狙います。



◆「殻を破った！」 耐久高校文化祭

15日、16日、天候にも恵まれ、無事に2日間文化祭を実施しました。今年のテーマは『TAMAGO』で、「自分の殻を破るや何が生まれるか分からない」というドキドキ感を表したものとなっています。このテーマに沿って、各クラス・クラブが工夫を凝らした展示・舞台・模擬店を催しました。短い準備期間ではありましたが、生徒達は懸命に練習を重ね、素晴らしい文化祭となりました。今後も期末考査など、学校行事は続いていきますが、生徒達にはこの文化祭で得たものを力に変え、さらに充実した学校生活を過ごしてほしいです。



7月の予定

～7月4日（火）

1学期期末考査

7日（金）

小論文模試

10日（月）

1年、2年実力テスト

13日（木）

生徒会立会演説会

15日（日）

3年記述模試、3年公務員模試

18日（火）

一斉登校指導

20日（木）

終業式

20日（木）～24日（月）

三者面談

